



Sansei Technologies

第68期ご報告
株主のみなさまへ

2017年4月1日から2018年3月31日まで

三精テクノロジーズ株式会社

証券コード:6357

株主の皆様へ

本年4月1日に代表取締役社長に就任いたしました良知 昇^{らちのぼる}でございます。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は中期経営計画にて掲げておりますグローバル・ニッチ・トップ戦略実現のため、本年3月30日に世界屈指の遊戯機械メーカーであるオランダのVekoma社を買収いたしました。

これにより、遊戯機械事業において、当社、S&S社、Vekoma社の当社グループ3社で、世界中のお客様のあらゆるニーズにお応えする体制が整います。今後は、3社の連携を強力に推し進め、シナジー効果の発揮に取り組んでまいります。

さて、当連結会計年度の経営成績につきましては、最終的に売上高は27,277百万円、営業利益は2,211百万円、経常利益は2,337百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は1,398百万円と前期対比では減収減益となりましたが、利益面ではVekoma社買収に係るコスト負担や諸経費の増加を吸収し、売上・利益共に期初の業績予想を上回ることができました。

なお、Vekoma社を連結した当社グループの第69期の業績予想は、売上高52,000百万円、営業利益4,350百万円、経常利益4,250百万円、親会社株主に帰属する当期純利益2,700百万円としております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



代表取締役社長 良知 昇

オランダVekoma社の完全子会社化について

Vekoma社概要

名称	Vekoma Rides B.V.
本社	オランダ Vlodrop
創業	1926年
事業内容	遊戯機械の設計、製造、 施工、販売 (主にローラーコースター)



Vekoma社はオランダに本社を置く世界屈指の老舗遊戯機械メーカーであり、ローラーコースターの幅広いラインナップが特徴です。

高度な品質管理と、確かな技術力を併せ持つVekoma社は遊戯機械業界のリーディングカンパニーとして、欧州を中心に世界中のテーマパークや遊園地にたくさんのコースターを納入しています。

遊戯機械事業において、当社と米国S&S社、そしてVekoma社が連携することで、顧客面(カバーする地域・主要顧客)・製品面(主要製品ラインナップ)・生産面(生産拠点・生産体制)において3社が互いに補完し合い、世界中のお客様のあらゆるニーズに、戦略的・機動的に対応できる体制が整うこととなります。

当社グループは名実共に世界No.1の遊戯機械メーカーとしての地歩を固めるべく引き続き邁進してまいります。



トピックス

名古屋の老舗劇場「御園座」がリニューアルオープン

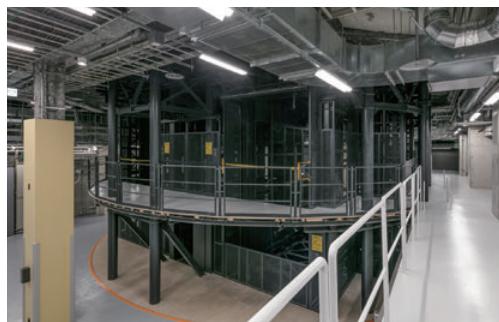
明治30年開場以来121年の歴史を誇る御園座が、本年4月にリニューアルオープンしました。

当社は、大小 計3基の迫りを内設した直径約14.5 mの廻り舞台と、緞帳3台、手動バトン44台を含む計64台の吊物装置を施工納入いたしました。

更に、従来は無かった可動式プロセニアム装置や組立式オーケストラピットも新たに納入し、歌舞伎だけでなくオペラやミュージカルなど多彩な演目に対応可能な劇場に生まれ変わりました。



御園座内部



廻り舞台(舞台下部)

人が搭乗できる人型変形ロボット「J-deite RIDE」を公開

当社はアストラテック株式会社、株式会社 BRAVE ROBOTICSとともに、全長約4メートルの乗用人型変形ロボット「J-deite RIDE (ジェイダイト・ライド)」を公開いたしました。

J-deite RIDEは、二足歩行で移動可能なロボットモードと、車輪走行で移動可能なビークルモードに変形し、2人まで搭乗可能です。

今後当社ではJ-deite RIDEの開発で培ったロボット変形テクノロジーを活用し、アミューズメントパーク向けに変形ロボット型遊戯機械の事業化に向けた開発を進めてまいります。



ロボットモード

ビークルモード

業績ハイライト

セグメント別概況

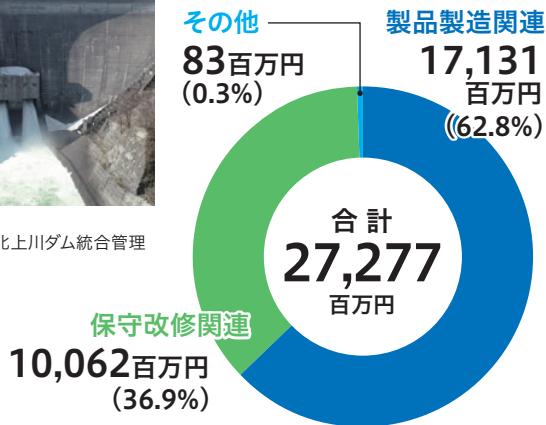
製品製造関連

製品製造関連は、御園座の完工やナガシマスパーランドのホワイトサイクロンリニューアルの進捗等により、当期売上高は17,131百万円(前期比5.9%減)、セグメント利益は、2,022百万円(同25.3%減)となりました。



湯田ダム
(国土交通省北上川ダム統合管理事務所提供)

[セグメント別売上高比]



久留米アリーナ弓道場
*可動式機構により的(まど)が遠近両方に対応

保守改修関連

保守改修関連は、愛知芸術文化センター小ホールの完工等により、当期売上高は10,062百万円(同7.3%減)、セグメント利益は1,368百万円(同13.6%減)となりました。

その他

その他の売上高は管理する遊戯施設の来園者数が増加したことにより、当期売上高は83百万円(同12.6%増)、セグメント利益は14百万円(前期は10百万円の損失)となりました。

連結財務ハイライト



(注)当連結会計年度より会計方針の変更(退職給付債務の計算方法の変更)を行っているため、2017年3月期末について、遡及適用後の数値を記載しております。

連結財務諸表

2018年3月30日のVekoma社買収により、当連結会計年度からVekoma社を加えた連結財務諸表を作成しております。連結貸借対照表には同社の貸借対照表が含まれておりますが、連結損益計算書には同社の損益は含まれておりません。

連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円)

科目	第68期 当連結会計年度 (2018年3月31日現在)	第67期 前連結会計年度 (2017年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	35,301	22,999
固定資産	30,490	17,304
有形固定資産	10,368	9,128
無形固定資産	15,001	3,138
投資その他の資産	5,121	5,037
資産合計	65,792	40,303
負債の部		
流動負債	18,807	8,295
固定負債	18,392	4,503
負債合計	37,200	12,798
純資産の部		
株主資本	26,425	25,623
資本金	3,251	3,251
資本剰余金	2,424	2,423
利益剰余金	21,212	20,412
自己株式	△462	△463
その他の包括利益累計額	2,067	1,823
その他有価証券評価差額金	1,392	1,158
繰延ヘッジ損益	25	69
為替換算調整勘定	649	581
退職給付に係る調整累計額	△0	14
新株予約権	100	58
純資産合計	28,592	27,505
負債純資産合計	65,792	40,303

連結損益計算書(要約)

(単位：百万円)

科目	第68期 当連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	第67期 前連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)
売上高	27,277	29,122
売上原価	19,601	21,305
売上総利益	7,675	7,817
販売費及び一般管理費	5,463	4,575
営業利益	2,211	3,242
営業外収益	237	209
営業外費用	112	38
経常利益	2,337	3,412
特別利益	73	—
特別損失	1	1
税金等調整前当期純利益	2,409	3,411
法人税、住民税及び事業税	978	1,614
法人税等調整額	32	△438
当期純利益	1,398	2,235
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	1,398	2,235

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)

科目	第68期 当連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	第67期 前連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△579	6,808
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,128	△135
財務活動によるキャッシュ・フロー	16,068	△91
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12	△11
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△650	6,570
現金及び現金同等物の期首残高	11,234	4,664
現金及び現金同等物の期末残高	10,583	11,234

(注)当連結会計年度より会計方針の変更(退職給付債務の計算方法の変更)を行っているため、第67期末について、遡及適用後の数値を記載しております。

株式の状況・会社概要

株式の状況

(2018年3月31日現在)

発行可能株式総数	39,000,000株
発行済株式の総数	19,332,057株
株主数	3,178名

大株主

(2018年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
鳥海節夫	1,768	9.60
京阪神ビルディング株式会社	828	4.50
株式会社三井住友銀行	805	4.38
株式会社三重銀行	805	4.38
株式会社西島製作所	801	4.35
三井住友ファイナンス&リース株式会社	693	3.77
三井住友カード株式会社	692	3.76
住石マテリアルズ株式会社	666	3.62
丸一鋼管株式会社	652	3.54
MSIP CLIENT SECURITIES	507	2.76

注:当社は、自己株式920,213株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
また持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株式分布状況

(2018年3月31日現在)

所有者別	株主数	株式数(千株)	株式数比率(%)
個人・その他	2,997	5,158	26.68
金融機関	17	3,301	17.08
その他国内法人	77	6,721	34.77
外国人	67	3,018	15.62
証券会社	19	211	1.09
自己名義株式	1	920	4.76
所有株数別	株主数	株式数(千株)	株式数比率(%)
1~99株	328	10	0.06
100~499株	1,593	267	1.38
500~999株	287	174	0.90
1,000~4,999株	735	1,270	6.57
5,000~9,999株	103	654	3.39
10,000~49,999株	82	1,457	7.54
50,000~99,999株	17	1,194	6.18
100,000株以上	32	13,382	69.22
自己名義株式	1	920	4.76

会社概要

(2018年3月31日現在)

商号：三精テクノロジーズ株式会社
(Sansei Technologies, Inc.)
設立：1951年2月27日
資本金：3,251百万円
従業員数：1,081名(連結) 257名(単体)
本社所在地：〒532-0003
大阪市淀川区宮原4丁目3番29号
TEL 06-6393-5621
FAX 06-6393-5701

役員一覧

(2018年6月28日現在)

代表取締役会長：中川 実
代表取締役社長執行役員：良知 昇
代表取締役副社長執行役員：大志万 公博
取締役専務執行役員：江部 一昭
取締役執行役員：野口 幸男
取締役執行役員：宮崎 和也
社外取締役：アイアトン ウィリアム
社外取締役：大野 忠士
常勤監査役：皆木 啓幸
社外監査役：池口 毅
社外監査役：安川 喜久夫
社外監査役：垣内 明彦

株主メモ

事業年度：毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会：毎年6月開催
基準日：
●定時株主総会 毎年3月31日
●期末配当金 毎年3月31日
●中間配当金 毎年9月30日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等の届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主さまは、住所変更等の届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主さまは、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関：東京都千代田区丸の内1丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人：大阪市中央区北浜4丁目5番33号
事務取扱場所：三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先)：〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)：☎0120-782-031

インターネットホームページURL
<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用していなかった株主さまには、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開いたしております。特別口座についてのご照会および住所変更等の届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告の方法：当社のホームページに掲載する。
(<http://www.sansei-technologies.com/ir/announcement/>)

金融商品取引所：東京証券取引所 第2部

